



訪中少年教育交流団

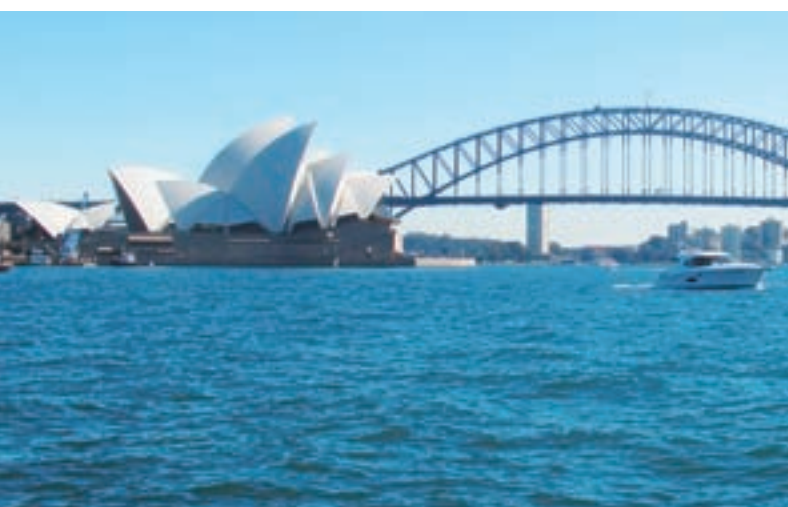
7月30日～8月5日にかけて名森小・牧小・結小の児童9人で構成された教育交流団が中国へ派遣されました。平成5年以来少年教育交流を行っている江西省での歓迎式、江西省図書館や廬山参観、豊城市への表敬訪問、小学校視察、ホームビジット、上海市内参観など有意義な研修を行いました。

「中国と日本の料理の違い」 牧小学校5年 渡邊 和奏さんの報告

私が中国へ行って一番印象に残ったことは、食事についてです。中国の料理は、とにかく量が多く、味付けが辛かったです。ときには、日本では食べられないような変わった食べ物も出てきました。研修を通して、中国と日本では、料理やテーブルなどが違うことに気づきました。

今回、中国研修に参加し、中国の食文化に大変興味をもちました。日本で食べている中国料理は本場中国のものとは少し違うことが分かり、もっと中国の食文化について調べたくなりました。

*一部抜粋



訪豪少年教育交流団

7月31日～8月7日にかけて登龍中・東安中の生徒10人で構成された教育交流団がオーストラリアへ派遣されました。農場での羊の毛刈りや牧羊犬の活躍を見学、英会話レッスン、ホームステイ、学校・消防署見学、ブルーマウンテンズやワイルドライフパークで自然を満喫、シドニー市内参観など有意義な研修を行いました。

「帰国の日」 登龍中学校2年 富田 哉汰さんの報告

今回のオーストラリア研修で僕たちは、今まで経験したことのない貴重な体験をさせていただきました。出発した日のことを思い出すと不安がほとんどで、本当に自分の英語は通じるのか、ホストファミリーの方とはちゃんとコミュニケーションがとれるかなど、心配もあったけれど、いざ終わってみればホストファミリーの方も親切に受け入れてくださり、特に実用的に使える英語を現地で過ごすことにより学び、身につけることができました。

この研修で学んだ「自分で判断し、自分で動くということ」をこれからの学校生活でも生かしていけるようにもっと学校にも関わっていけるようにしていきたいです。

*一部抜粋